

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-151120

(43) 公開日 平成11年(1999)6月8日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

A 4 6 B 11/06

A 4 6 B 11/06

B 6 0 S 3/04

B 6 0 S 3/04

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平9-318540

(71) 出願人 597162536

有限会社ユーワイブラシ

(22) 出願日 平成9年(1997)11月19日

福岡県博多区東那珂2丁目22番5号

(72) 発明者 米倉 勝彦

福岡県博多区東那珂2丁目22番5号 有限
会社ユーワイブラシ内

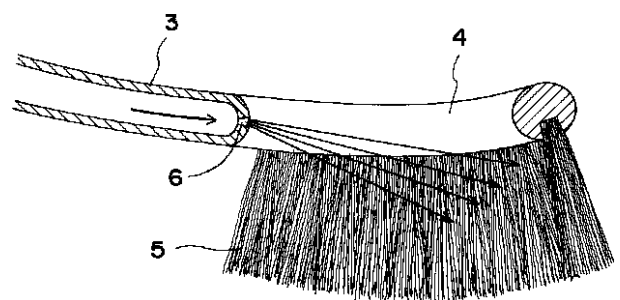
(74) 代理人 弁理士 小堀 益 (外2名)

(54) 【発明の名称】 洗車ブラシ

(57) 【要約】

【課題】 水しぶきがかかることがない家庭用の洗車用ブラシの構造を見いだすこと。

【解決手段】 洗浄水導入孔を有する取手部と、この取手部の先端から二股に分岐した環状部材とを一体に設け、さらに、この環状部材の下面に環状に刷毛材を取り付けて、洗浄水導入孔から洗浄水を噴出する洗車ブラシにおいて、前記環状に取り付けた刷毛材の内面に洗浄水が指向するように、前記取手部の先端に洗浄水吐口を穿設している。この構造によって、勢いよく吐出された洗浄水は、全て斜め下に指向し、一旦、刷毛材で受けた後、流下するようになるので、作業する人に直接当たることはなく、その分、洗浄水の勢いを強くすることができ、洗浄効率を上げることができる。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 洗淨水導入孔を有する取手部と、この取手部の先端から二股に分岐した環状部材とを一体に設け、さらに、この環状部材の下面に環状に刷毛材を取り付けて、洗淨水導入孔から洗淨水を噴出する洗車ブラシであって、前記環状に取り付けた刷毛材の内面に洗淨水が指向するように、前記取手部の先端に洗淨水吐出口を穿設したことを特徴とする洗車ブラシ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、乗用車の外面を水洗浄するための洗車用ブラシに関する。

【0002】

【従来の技術】従来から、家庭用の洗車用ブラシとして、取柄部とその先端にスポンジあるいはブラシを一体的に取り付けたブラシ部を有し、取柄部の基部を水道ホースと連結して、先端のブラシから洗淨水を放出し、洗淨液とともに車を洗淨するようにしたタイプのものがある。

【0003】このタイプの洗車ブラシは、使い易いうえに、少ない給水量で効率よく洗淨でき、さらには、塗装面を傷めないという利点があることから広く使われている。そして、さらに使い易く、洗車効率を上げ、さらには、洗車対象である塗装面を傷つけないようにした構造が多く提案されている。

【0004】たとえば、特願平 8 - 1 7 8 8 9 号出願明細書には、ブラシ部分に巻き込まれた微細な土砂類による洗車面への疵付きを防止するための構造として、ブラシあるいはスポンジとの接触面に複数の洗淨水の吐出口を穿設するとともに、その下面に外方に開放した凹部を形成して洗淨水を逃がすようにしたものが開示されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】ところが、このような家庭用洗車ブラシの使用上の問題として、洗淨水がブラシを保持する人にはねかえり、このため、ブラシに供給する水道水の栓を締めて、水量と水圧を下げ使用せざるを得ない。

【0006】本発明の課題は、このような家庭用の洗車用ブラシにおいて、水しぶきがかかることがない構造を見いだすことにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明の洗車ブラシは、洗淨水導入孔を有する取手部と、この取手部の先端から二股に分岐した環状部材とを一体に設け、さらに、この環状部材の下面に環状に刷毛材を取り付けて、洗淨水導入孔から洗淨水を噴出する洗車ブラシにおいて、前記環状に取り付けた刷毛材の内面に洗淨水が指向するように、前記取手部の先端に洗淨水吐出口を穿設している。こ

の構造によって、勢いよく吐出された洗淨水は、全て斜め下に指向し、一旦、刷毛材で受けた後、流下するようになるので、作業する人に直接当たることはなく、その分、洗淨水の勢いを強くすることができ、洗淨効率を上げることができる。

【0008】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を本発明の実施例を示す添付図によって説明する。添付図 1 および図 2 は本発明の洗車ブラシの外観を示す。これらの図に示すように、本発明の洗車ブラシ 10 は、基端に、水道水の水栓のような水源に連結したホースを取り付けるための取り付け口 1 を有し、その取り付け口 1 に連通する洗淨水導入孔 2 を設けたプラスチック製の取手部 3 と、この取手部 3 の先端から二股に分岐した中実の環状部材 4 とを一体に設けている。さらに、この環状部材 4 の下面には環状に刷毛材 5 を取り付けている。この刷毛材 5 としては、各種のブラシ、軟質の発泡材であってもよい。さらに、取手部 3 の先端の二股に分かれた箇所には、洗淨水を噴出するための吐水口 6 を穿設して、環状に取り付けた刷毛材 5 の内面に洗淨水が指向するようにしている。

【0009】この吐水口 6 を断面形状としては、円形、角形など、任意の形状を採用することができるが、縦方向の断面としては、吐出水の勢いと適度の分散性を得るためには、基端から先端方向に向かって、僅かに広がった形状のものがよい。また、吐水口 6 は、単一口に限らず、任意の配置と大きさで、複数配置することも可能である。要は、吐水された洗淨水が、全て、刷毛材 5 の環状内面に一様に当たるように配置すれば良い。

【0010】図 3 と図 4 は、取手部 3 内の洗淨水導入孔 2 を経て、吐水口 6 から噴出する洗淨水の状態を示す。図 4 に示すように、吐水口 6 の直前の導入孔 2 の内部を広くして、ここを吐水圧調整部 7 とすることができる。

【0011】さらに、これらの図には示されていないが、取手部 3 に近い環状部材 4 の内部にも洗淨水導入孔を形成し、そこから、洗淨水が吐き出すようにして、環状に刷毛材 5 の内面での一様に洗淨水が流下するための補助口とすることもできる。

【0012】

【発明の効果】本発明の洗車ブラシによって以下の効果を奏することができる。

【0013】(1) 取手部の先端から吐出された洗淨水は、刷毛材で受けた後、流下するので、飛び撥ねることがなく作業することができる。

【0014】(2) 使用する洗淨水は撥ねることがないので、使用する水道を高い水圧で多量使用することができ、洗淨効率をあげることができる。

【0015】(3) 構造が簡単であり、耐久性がよい。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の洗車ブラシの側面から見た図を示す。

【図2】 図1を上面から見た図である。

【図3】 本発明の洗車ブラシの洗浄水の吐出状況を側面断面によって示す。

【図4】 本発明の洗車ブラシの洗浄水の吐出状況を平面からみた断面図である。*

*【符号の説明】

10 洗車ブラシ
洗浄水導入孔

1 ホース取り付け口

2

3 取手部
環状刷毛材

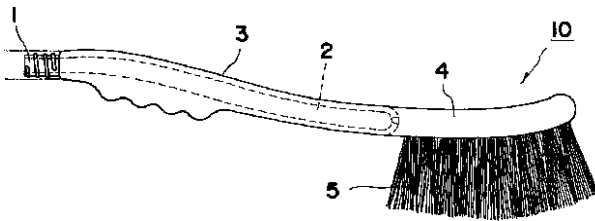
4 環状部材

5

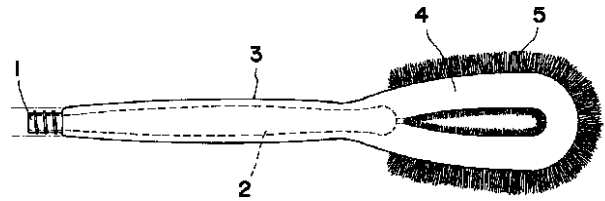
6 吐水口

7 吐水圧調整部

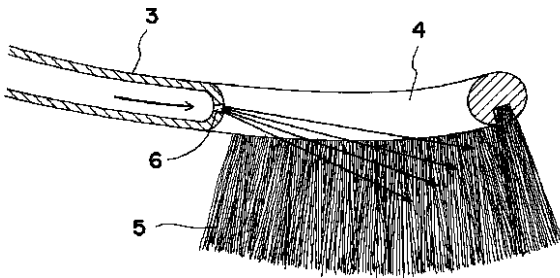
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

